

5. 食道癌に対する陽子線治療の多施設共同後方視的観察研究

研究課題名	食道癌に対する陽子線治療の多施設共同後方視的観察研究		
研究機関名	脳神経疾患研究所附属 南東北がん陽子線治療センター		
	研究責任者名・所属	放射線治療科 和田 仁	
研究の目的	表層性・局所進行性食道癌患者に対する陽子線治療の有効性と安全性を、多施設共同にて後ろ向きに評価する。主評価項目は5年生存率であるが、副次的評価項目として、重篤度別有害事象発生率（肺、心臓、食道）、5年局所制御率、5年疾患特異的生存率を調査する。		
研究の方法	対象となる患者さん	以下の条件をすべて満たす患者 (1)食道癌と診断されたT1-4N1-3M0（2009年UICC/TNM分類の食道癌）である患者。ただし、鎖骨上窩リンパ節転移などリンパ節転移にてM1となった症例は含むこととする。 (2)初発の食道癌で、当該病変に対する内視鏡的治療、手術療法、化学療法の治療歴がない患者。 (3)2009年1月1日～2013年12月31日の間に食道癌に対して陽子線治療を実施した患者。	
		研究対象期間	2009年1月1日～2013年12月31日
	利用するカルテ情報	診断名、年齢、性別、陽子線治療・有害事象に関する情報	